

漫画と文化とインタープリテーション

長谷川 幸子（自然あそび企画舎・文教大学非常勤講師）

キーワード：ノンパーソナル・インタープリテーション、漫画、文化

1. はじめに

ノンパーソナル・インタープリテーションにおいて、対象者の興味関心を引きつけることは大変重要である。漫画の特徴である「絵と台詞で読みやすく・理解しやすい」を活かし、ノンパーソナルなインタープリテーションに取り入れた事例を紹介する。

2. 茅ヶ崎里山公園セルフガイドの事例

2013年、神奈川県立茅ヶ崎里山公園にて自然教育研究センターが受託・制作したセルフガイド。漫画は岡井ハルコ氏が制作者の意図を汲み取り、ストーリーを制作。

事例 1-1：茅ヶ崎里山公園セルフガイドの導入部



セルフガイドはA4表裏で2回折ってA6サイズで持ち歩くデザインとなっている。裏面は具体的な活動を促し、表面が漫画で構成されている。①～③は導入部で活動の促しの役割をもつ。④は活動後にセルフガイドの答えの場所を伝えている。

事例 1-2：茅ヶ崎里山公園セルフガイドの導入部



事例1-3：茅ヶ崎里山公園セルフガイド まとめシート



事例2-1：金沢の文化を伝えるサイン



3. 文化を扱ったノンパーソナルなインタープリテーション

2021 年金沢大学山田菜緒子氏のプロジェクトの一環で制作された金沢の文化を伝えるサイン。岡井ハルコ氏の細やかな絵が言葉で表現しきれない雰囲気や物語を伝える役割を担っている。